

対象患者：胃癌

レジメン名：ゾルベツキシマブ+CapeOX

1コースの日数：21日

催吐性リスク：高度

血管外漏出リスク

ゾルベツキシマブ：不明

オキサリプラチン：壊死起因性抗がん薬

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day						
						1	～	8	～	15	～	21
1	パロノセトロン ホスネツピタント デキサメタゾン d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.75mg 235mg 9.9mg 5mg	点滴静注	メインルート	30分	○						
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						
3	ゾルベツキシマブ 生理食塩液	800mg/m ² (1回目) 600mg/m ² (2回目以降) (投与量×0.45)mL *2mg/mLに調製	点滴静注	メインルート	0～30分：50mL/h(1回目) 38mL/h(2回目以降) 30～60分：100mL/h(1回目) 75mL/h(2回目以降) 60～90分：150mL/h(1回目) 113mL/h(2回目以降) 90分以降：200mL/h(1回目) 150mL/h(2回目以降)	○						
4	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						
5	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						
6	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○						
7	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						

点滴順序：Rp1→2→3→4→5→6→7

投与時間：2時間30分+α(ゾルベツキシマブ投与時間)

備考： 上記と合わせてカペシタビンを下記の用法・用量にてday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで内服する。 ・BSA<1.36：2400mg/day 分2 ・1.36≦BSA<1.66：3000mg/day 分2 ・1.66≦BSA<1.96：3600mg/day 分2 ・1.96≦BSA：4200mg/day 分2 制吐剤として下記を内服する。 ・ロラゼパム0.5mg/day 分1(*day0-1)*治療開始前夜、朝食後 ・レバミピド300mg/day 分3(*day0-1)*治療開始前夜、朝・昼食後 ・デキサメタゾン8mg/day 分2(day2-4) ゾルベツキシマブはday1の18時には点滴終了する。
